

平成27年度 四日市市環境活動賞受賞者紹介

●受賞団体

霞ヶ浦地区環境行動推進協議会（通称：K I E P' S）

寺方町一区環境保全会

西日本電信電話株式会社 四日市支店

四日市ウミガメ保存会

一般社団法人 四日市大学エネルギー環境教育研究会

●表彰式

平成28年3月21日（月曜日）に四日市市立博物館 4階 特別展示室 で開催しました「エコまつり」の中で表彰式を行いました。



平成27年度 四日市市環境活動賞 受賞者

霞ヶ浦地区環境行動推進協議会（KIEP'S）

●活動の目的

KIEP'S(霞ヶ浦地区環境行動推進協議会)は、世界的な温室効果ガス排出抑制の動きの中、霞ヶ浦地区の企業が連携を図ることにより、温室効果ガスの排出量の削減に向けた自主的かつ積極的な環境保全への取組を推進及び支援し、それにより地域の良好な環境を形成することを目的として活動を開始しました。

KIEP'Sは、四日市市の霞ヶ浦地区に立地する24者(企業23社、一部事務組合1者)から構成され、資本関係に関わらない多種多様な企業が連携して活動を行っています。このような取組みは全国的にも珍しく、各種メディア等で活動を取り上げられており、社会に対するアピールにもなっています。また、環境に関する活動をしている他団体からの呼びかけにより新たな活動を開始することもあり、活動の幅を広げています。

<高松海岸清掃>



<里山保全活動>



<総会>



●活動内容

・エコ通勤

毎月第三水曜日に会員企業従業員を対象としたエコ通勤の呼びかけと事後アンケートを実施しています。エコ通勤は、個人のライフスタイルを変えることにより温室効果ガスの削減を目指す、当協議会活動の中心となる取り組みであり、毎回450名程度が参加しています。当初は、年に2回から試行し、奇数月に1回での実施を経て、平成23年度からは毎月1回と拡大し、参加者も定着しつつあります。また、エコ通勤実施日に事後アンケートを実施することにより、結果を取り組みの改善につなげており、今年度からは、統一実施日にエコ通勤できなくても、同一週内であれば振替え実施者とする事とし、より多くの参加者を得られるよう工夫を続けています。(エコ通勤によるCO₂削減効果は、毎回約2トン程度)

なお、霞ヶ浦地区への車両流入量が減ることにより、周辺の幹線道路(R1,R23)の渋滞緩和にも繋がっており、間接的にCO₂の削減に寄与しています。

・ライトダウン

エコ通勤と合わせ、毎月第三水曜日の午後8時から10時まで、各社施設や事務所のライトダウンを実施しています。毎回のCO₂削減量は、約0.6t/回となっています。

・古紙回収

毎月第4月曜日に、会員企業の事業活動で不要となった古紙や段ボール等を回収し、回収業者に売却、売却益を協議会の活動費として活用しています。(年平均回収量約52,000kg)

・環境ボランティア活動(高松海岸清掃・里山保全活動・霞ヶ浦地区ふ頭合同清掃)

環境ボランティア活動のうち、海岸清掃は2011年度から開始し、会員企業従業員の自主的な参加もあり参加者が年々増加しています。毎年軽トラックの荷台にゴミ袋が山積みになるほどの量を回収しています。(H27年度実績:約100kg)

里山保全活動は、KIEP'Sの活動を知った、「四日市自然保護推進委員会」からの呼びかけがあり、これに共感してCO₂の吸収源である森林の保全および里山再生に取り組んでいます。

霞ヶ浦地区合同清掃は、以前はコンビナート企業と物流企業で別々に実施していたものを、四日市市花火大会の翌日に合同で行っています。これらの環境ボランティア活動は、会員企業従業員が一斉に集まるため、協議会活動に参加する意識付けにもなっています。

●今後の予定

今後も、参加の呼びかけや実施後アンケートの方法等を工夫していくことで、エコ通勤の取組みを定着させるとともに、参加人数を増やしていこうと考えています。また、自宅周辺に公共交通機関がないことや、家庭の事情によりエコ通勤ができない人もいることから、エコドライブ講習会を開催するなどして、車を運転する場合にもエコドライブを心がけてもらうとともに、次世代型(低燃費・ハイブリッド等)自動車の所有率をあげることで、CO₂の削減を図ります。

毎年1回の総会では、外部講師を招いた基調講演を行い、当協議会の活動の意義を再確認することで、今後の環境保全活動を向上させていきます。

●経歴

- ・日本環境経営大賞 環境価値創造賞(2011.6)(主催:三重県)
- ・日本環境共生学会 環境共生活動賞(2012.9)(主催:学会)

●受賞者の概要

団体名称	霞ヶ浦地区環境行動推進協議会(通称:KIEP'S)
代表者	会長会社 東ソー株式会社四日市事業所総務部長 吉田 信一
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ通勤、ライトダウン、古紙回収、エコドライブ講習会等 ・環境ボランティア活動(それぞれ年1回) 7月:高松海岸清掃(ごみ拾い) 8月:霞ヶ浦地区合同清掃(ごみ拾い) 1月:里山保全活動(南部丘陵公園の常緑樹間伐・笹の刈り取り) ・各種環境関連イベント等における出展・ポスター発表 ・総会(年1回実施、会員各社幹部職員出席・環境関連講演会も同時実施)
これまでの活動経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年10月 協議会発足 ・平成21年10月 一斉ライトダウン実施開始(偶数月に1回) ・平成21年11月 一斉エコ通勤デー実施開始(奇数月に1回) ・平成22年 5月 霞地区環境セミナー(KIEP'S総会)開催(以後毎年5月) ・平成22年 8月 霞ヶ浦地区合同清掃開始(以後毎年8月) ・平成23年 4月 エコ通勤・ライトダウンを月1回に拡大 ・平成23年 7月 海岸清掃活動開始(以後毎年7月) 古紙合同回収開始(以後毎月1回) ・平成23年12月 エコドライブアドバイザー養成講習会受講 以後、エコドライブ体験会・エコドライブグランプリなどを毎年1回実施 ・平成24年 1月 里山保全活動への参加開始(以後毎年1月)
主な活動場所	四日市市(四日市港)霞ヶ浦地区
活動の頻度	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ通勤、ライトダウン、古紙回収はそれぞれ月1回 ・環境ボランティア活動はそれぞれ年1回(高松海岸清掃・霞ヶ浦地区合同清掃・里山保全活動) ・エコドライブ講習会等および総会は年1回
運営体制	事務局 東ソー株式会社、日本トランスシティ株式会社、四日市港管理組合 ほか会員企業21者(別添会員名簿参照)
参加人数	-
連絡先	事務局:四日市港管理組合整備課(TEL:059-366-7003)

平成27年度 四日市市環境活動賞 受賞者

寺方町一区環境保全会

活動写真 土手や堤を利用して芝桜花壇を作りました(^o^)

若宮八幡社前の土手に咲く芝桜
【平成26年に植栽しました。】



農業用ため池“竜宮池”の堤に咲く芝桜
【平成25年に植栽しました。】



“ため池”の生態系の把握と外来種の駆除活動

寺方町には大小（5つ）の農業用“ため池”があります。その中でも大きい方の長谷池の池干しをしました。子供達も普段は池に入ることが無い
ため、大はしゃぎで魚を捕獲してブルーギルの駆除に貢献しました。
(H26.10実施)





樹木の伐採活動

農用地・農道・ため池・水路に覆い被さる樹木は農作物に良くありません。長年にわたって放置されてきた樹木や雑木が町内には沢山あります。樹木の伐採作業は非常に危険を伴いますが、重機を使って安全第一に活動しています。



川や水路の清掃・泥上げ活動

水路は広範囲なため清掃活動は年に数回、計画的に実施。（写真：H28実施）

江田川の泥上げ作業には重機がかかせません。（重機：個人所有を提供）



農業用“ため池”や道路の草刈り活動

農業用“ため池”の堤や道路脇の草刈り活動を一齐に実施しています。





花いっぱい運動

皆さんおなじみの「花いっぱい運動」は老人会中心に活動していますが、環境保全会も花壇の手入れや四季の花苗を植え付けるお手伝いをしています。





町内一斉清掃活動

町内の道路や溝に捨てられた沢山のペットボトルや空き缶などを拾い集めて廃棄しています。自治会・子供会・老人会みんなで年1回の活動です。



“用水の利用と大切さ”について野外学習活動

配水ポンプ場の外から“ため池”を見学する
神前小学校4年生の児童たち。（H27年は
先生含む生徒40名が参加しました）



配水ポンプ室内で有識者の説明に耳を傾
ける児童たち。（竜宮池のポンプ室内
で）



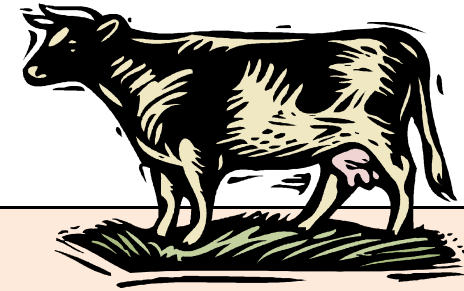
●今後の予定

町内のみなさんは環境保全活動に協力的で理解があります。計画的に活動して4年、地域の資源を大切にしていくための活動は定着しつつあります。これからも、保全会員はもとより住民の方達と意見交換を行い、更なる「きめ細やかな活動」を模索して明るく住みよい町づくりに貢献していけるよう考えています。

●経歴

- ・平成24年 6月～活動開始
- ・平成24年～平成27年（4年継続）→用水の利用学習会実施
- ・平成24年9月→竜宮池（農業用ため池）の生態系調査実施
- ・平成25、26年2月→江田川の清掃、泥上げ活動実施
- ・平成25、26年10月→竜宮池（農業用ため池）の芝桜花壇作り実施
- ・平成26年10月→長谷池（農業用ため池）の生態系調査実施
- ・平成25、26年11月→若宮八幡社前に芝桜花壇作り実施

●受賞者の概要



団体名称	寺方町一区環境保全会
代表者	会長 高田 征二
活動内容	①町内道路一斉草刈り及び道路等に係る樹木の伐採活動②農業用水である「ため池」の生態系の把握と外来種の駆除③環境美化に花苗の植付けや芝桜の植栽等を行い町内の景観造り④小学生を対象とした”用水の利用と大切さ”について野外学習会を開催など
これまでの活動経緯	過疎化、高齢化により農業者の減少に伴い個々の力では解決出来ない懸案事項が数多くありましたが、環境保全活動を通じて地域住民と理解、協力し合いながら資源を守る大切さを目標に、さまざまな課題に取り組んできました。
主な活動場所	町内全般
活動の頻度	平成27年度は2回/月平均
運営体制	環境保全会 11名 その他組織(自治会、老人会、子供育成会)
参加人数	H24年、320名(年間)/H25年、434名/H26年、536名/H27年、513名
連絡先	四日市市寺方町167番地 (電話)059-326-4111

平成27年度 四日市市環境活動賞 受賞者

西日本電信電話株式会社 四日市支店

●活動の目的

○NTT西日本グループとして

「地域社会における企業市民として役割を担う」
ことを基本とし、地域と一体となった社会貢献活動を推進

○四日市支店の具体的な活動

社会環境保護活動として

★活動1：「NTT西日本ビル周辺の清掃活動」

社会福祉活動として

★活動2：「エコキャップ運動」



●活動内容

★活動1の紹介:「NTT西日本ビル清掃活動」

毎月10日の早朝約15分程度ですが、約10年間継続しています。ボランティア活動として社員自ら自主的に実施しており、道路、歩道、花壇、側溝などに落ちている空き缶や煙草の吸殻などのゴミ拾いを行い、事業所周辺の美化に努めています。

三滝通り側には、パーキング・メーターが設置され、駐車車両からの煙草の吸殻や空き缶、ティッシュペーパーなどのポイ捨てゴミが多く散乱しているため、毎回、念入りに清掃しています。また、強風や台風で折れた木々は、通行の妨げとなり危険であるため、清掃に合わせ拾っています。清掃以外にも、道路上のカーブミラーが傾いているとか、アスファルトの穴を見つけたり、側溝の蓋が割れたところを見つけるなど、危険個所の発見や修繕にも貢献しています。



煙草の吸殻などのポイ捨て

出入口のカーブミラーの修繕

★活動2の紹介:「エコキャップ運動」

ペットボトルのキャップを回収し、定期的にリサイクル業者へ提供することにより、焼却によるCO2削減とともに売却益でワクチンを購入することができ、世界の子どもたちの命を救うことにつながっています。

ビル内ロビーに設置したペットボトルのキャップ回収箱で分別を行い、四半期に1回程度で回収したキャップを軽く洗浄してからシールをはがし、リサイクル業者に運搬し提供しています。

- ・四半期に1回の回収量で平均で約3,000個(7.5kg)
ポリオワクチン3.75人分、CO2削減23.63kg
- ・年間では、ポリオワクチン15人分、CO2削減量14.52kg



①回収促進の掲示



②ペットボトルのキャップ回収

売却益でワクチン購入
焼却によるCO2削減



④リサイクル業者に運搬



③洗浄してシールをはがす

●今後の予定

私たちは、四日市で営業活動をしています。しかし、この地域では、過去に多くの方が公害病に苦しみました。この地域に働くものとして、四日市の歴史と教訓をみんなで学ぶため、「四日市公害と環境未来館」への見学会を企画し実施しました。

活動当初の10年前は、NTT西日本 四日市支店の社員数も200名を超えていましたが、現在は78名で半数以下にまで減少しています。今後、社員数が減っても地域一体となった社会貢献活動を継続して実施したいと考えています。



●経歴

- ・ N T T 西日本ビル周辺清掃活動 2005年 活動開始、約10年間継続
- ・ エコキャップ運動： 2007年 活動開始、約 8年間継続



●受賞者の概要

代表者	NTT西日本 四日市支店長 森岡 英太郎
活動内容	社会環境保護活動として「NTT西日本ビル周辺の清掃活動」 社会福祉活動として「エコキャップ運動」
これまでの活動経緯	・NTT西日本ビル周辺清掃活動: 2005年 活動開始 ＜活動期間(2015年12月現在: 約10年間 継続的に実施)＞ ・エコキャップ運動: 2007年 活動開始 ＜活動期間(2015年12月現在: 約8年間 継続的に実施)＞
主な活動場所	NTT西日本 四日市元新町ビル及び周辺
活動の頻度	NTT西日本ビル周辺の清掃活動は、毎月10日、約15分程度、エコキャップ運動は、日常からペットボトルのキャップを回収し、四半期に一度、リサイクル業者へ提供
運営体制	3名(NTT西日本グループ各社より各1名)
参加人数	78名(平成27年12月25日現在)
連絡先	〒510-0095 三重県四日市市元新町1-18 NTT四日市元新町ビル1F NTTビジネスソリューションズ 高橋、齋木 TEL: 059-356-8211

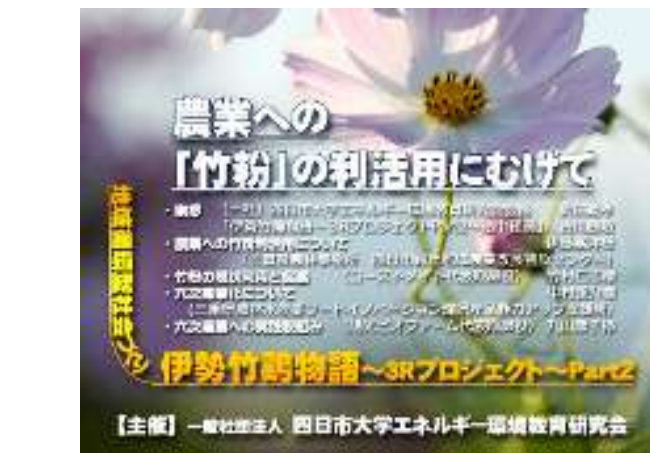
平成27年度 四日市市環境活動賞 受賞者

(一社)四日市大学エネルギー環境教育研究会

●活動の目的

地域に特色のある持続可能な社会を形成するためのプロジェクトを興し、社会の課題解決のために知的貢献と実践行動、そして、調査研究など、あらゆる主体と協働しながら、そこから得る知見を次世代に繋いでいくことを目的としている。

1. **環境教育 (ESD)** : 学校および社会において環境教育の推進を図る活動
2. **地域循環型社会づくり** : 持続可能な社会実現のために環境の保全を図る活動
3. **四季報「共創」の発行** : 社会全体のバランスが取れた持続可能な未来に向け、価値を生み出す情報提供



●活動内容

活動1の紹介：環境教育(ESD)

指導内容を参加者に届くように、学校教育や社会教育において児童や社会人に対応し、各分野におけるカリキュラムの開発につなげている。



↑環境省20プログラムに採用

活動2の紹介：地域循環型社会づくり

「伊勢竹鶏物語～3Rプロジェクト～Part1.2」は、里山保全をする団体と繁茂する竹を資源として農業生産や土壌改良などへ利用しながら、良質な地域ブランドの開発を進め、環境教育と共に消費者など地域全体が報われる地域循環システムの構築を実現するプロジェクトで、地域活性化につなげる。



●今後の予定

1. **環境教育（学校教育・社会教育）**：学校の授業では各教科に照らし合わせながら深い学びにつなげていく。同じく社会教育においても児童や参加者より答えを導き出し、ESDの視点に立ったプログラム開発と学習指導を目標として「人づくり」を継続して行う。
2. **地域循環型（地域活性化）社会づくり**：市内の里山を守るべく本来の竹の特徴を生かし、土壌の健全化と高品質な農作物、稲作りの実証を重ねていく。また、リサイクルステーションを拠点に、竹林整備者、農業者、研究者、専門家などと連携・協働しながら、地産地消、六次産業化、環境教育などを実施する。環境保全とともに、地域全体が報われること目的に進展させていく。
3. **四季報“共創”の発行**：単なる団体のPR紙ではなく、社会の課題に対して、各専門分野から寄稿として企業からの協賛により社会へ年4回継続して発信する。

●経歴(概要)

- 14年度：資源エネルギー庁から採択されエネルギー教育普及推進事業
- 19、20、21年度：内部地区「環境未来塾」企画、運営
- 20、22、24年度：四日市市リーダー養成講座、企画、委託運営
- 22年度：①生物多様性条約第10回締約国際会議(COP10)に招待講演。
②環境省「環境白書」に事業掲載。③eco japan cop2010で奨励賞表彰授与
④みなまた環境大学「環境教育プログラム」入賞
- 25年度：①環境省 ESDエコキッズフェア支援学校が全国大会へ
②環境省 ESD20のプログラムに採用され、全国へ冊子として配付。
- 26年度：①暮らしと省エネ行動 ②こわれた地球をとりもどそう！電子絵本と体験実験
③環境フェアや四日市市環境シンポジウム各イベント ①②③延べ2,800名

●受賞者の概要

団体名称	一般社団法人 四日市大学エネルギー環境教育研究会
代表	会長:新田義孝
活動内容	1. 環境教育(ESD)普及啓発推進事業 2. 地域循環型社会づくり 3. 四季報“共創”の発行
これまでの活動経緯	・平成14年 資源エネルギー庁より全国の大学より,エネルギー環境教育に選定され発足した。 ・平成24年 一般社団法人となる。 ・活動期間は、28年度で14年目を迎える。 ・多くの活動経緯があるので、ホームページなどで確認をお願いしたい。 http://www.yokkaichi-ene.com/
主な活動場所	四日市市全域、三重県北勢地域(東員、多度など) その他:愛知県、岐阜県
活動の頻度	週3~4回程度(毎週木曜日:定例会)
活動体制	15名(会長、副会長兼事務局長、職員、会計、研究員、顧問等)
参加人数	活動一回当たりの平均参加数は、平均約35~40名程度
連絡先	〒512-8512 四日市市萱生町1,200番地 電話:059-340-1638 ファクス:059-340-1638 メール: info@yokkaichi-ene.com